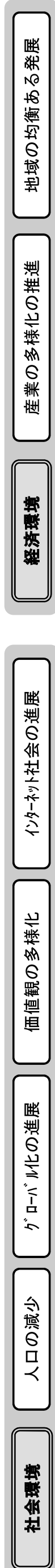


観光振興基本計画の概要

1 計画策定の趣旨等

- 計画策定の趣旨…観光振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。(観光振興基本条例第9条第1項)
- 計画期間…平成22年度～平成27年度(6年間)

2 社会・経済環境の変化と課題



3 観光振興に関する目標

【目標】
「感動の旅を見つけられる愛知」の創造と「産業としての観光」の発展

【目標値①】 観光旅行者の満足度の向上
◇ 観光旅行者の満足度 (アンケート調査における「非常に満足」との回答割合)
16.3% ⇒ 25%

【目標値②】 観光交流人口の拡大
◇ 延べ宿泊者数
1,048万人 ⇒ 1,500万人
◇ うち東アジア4か国・地域からの延べ宿泊者数
49万人 ⇒ 150万人

【目標値③】 観光と地域社会の発展
◇ 経済的効果…観光消費額 ※1
5,309億円 ⇒ 1兆円
◇ 社会的効果…観光ボランティアガイド数
2,202人 ⇒ 3,000人

4 基本的な方針 〈目標達成のために取り組む施策の方向性〉

【「産業としての観光」の推進】 ※2
観光をキーワードに、地域の関連産業を育成・振興する。
観光は裾野の広い産業であり、21世紀の有力な成長産業の一つとされる。産業の多様化を図り、バランスある地域経済の発展を目指す。

- 東アジアからの誘客推進と受入体制の確立
- ビジネス客による観光利用の促進
- イベント・コンベンションの誘致推進
- 観光産業の育成・振興

【観光による地域の活性化】
観光によって誇りと愛着を持つことができる、元気な地域づくりを進める。
観光旅行者の多様なニーズに応えるため、テーマ性、ストーリー性を持って観光魅力づくりを行うとともに、地域主体の観光まちづくりに取り組む。

- 「産業観光」と「武将観光」の推進
- 地域資源を活かした観光魅力づくり
- ソフト・ハード両面からの観光地づくり
- 広域観光の推進

【「おもてなし愛知」の実現】
観光への意識を高め、県全体で「おもてなし」を図る。
観光旅行者が満足感を得られるかどうかは、心のこもった温かいおもてなしが大きく影響する。そのため、県全体でおもてなしの気運醸成を図る。

- 県民参加によるおもてなしの推進
- 人の魅力による接客サービスの向上

※2 「産業としての観光」の考え方は、観光産業(宿泊業、交通運輸業、旅行業、飲食業、土産品業など)だけでなく、農林水産業、商工業も含め、観光を産業政策的な視点から総合的に育成・振興を図るもの

5 総合的かつ計画的に講ずべき施策

「観光インフラ」の整備

観光情報の発信

観光人材の育成

観光基盤・施設の整備

観光振興にあたって配慮する事項

安心・安全の確保

環境との調和

休暇取得の促進

6 施策を推進するために必要な事項

推進体制の整備

観光統計の整備

財政上の措置

7 地域別観光振興の方向

三河湾・伊勢湾

三河山間部

尾張平野部

三河平野部

大都市(名古屋)

※1 観光旅行者が県内で支出した宿泊費、交通費、飲食費などの合計